

六ツ美南部の歴史年表

六ツ美地区の縄文・弥生時代の様子は、遺跡の調査などによる確認がなされていないが、周辺（浅井、上羽角）に残る遺跡などから推定可能である。上羽角の住崎では、旧石器時代（約1万年前）のやじりが発見されている。また、上羽角では「釜田貝塚」（約6,000年前）、「釜田遺跡」（約4,000年前）が発見され、早くからこの地域に人がいたことが証明されている。

昔、六ツ美南部地域は海中の島で、葦が茂った葦島であった。その後、しだいに開け、日久良志の里と呼ばれるようになり、当地を「日奈加島」と云ったという。継体天皇の御代に当地が開拓され、五穀豊穰・人民繁栄の守護人として日向国笠狭御崎の神を勧請して日長神社を創祀、日長の宮と呼ばれたと伝えられている。

平安時代には、六ツ美は碧海荘の中にあつて、碧海荘は碧海郷、和田郷、卜部郷、中島郷および江原郷などに分れていた。碧海郷、和田郷、卜部郷、中島郷および江原郷をまとめて蘆島（あしじま）五郷と呼んでいた。蘆島五郷は現在の、占部川、矢作川、矢作古川、広田川に囲まれた地域で、海は江原町（西尾市）近くまで入っていた。蘆島五郷は名前の通り、蘆が生い茂った地域であった。

六ツ美南部では、奈良時代から平安時代にかけて、著名な神社・仏閣が建立された。507年に日長社、702年に素戔鳴神社、898年に崇福寺、1040年に小園神明社がそれぞれ創建された。また、鎌倉時代から戦国時代にかけても多くの神社・仏閣や城などが建立された。1189年に中島城（巴城）が築城され、1379年に住吉社、1398年に八幡社、1446年に龍泉寺、1464年に浄光寺がそれぞれ創建された。江戸時代には、1603年に占部用水が完工し1760年には、村山醫院が開業した。また、街道が整備され、常夜灯が設置された。

1603（慶長08）年	占部用水完工
1878（明治11）年	中島村誕生（下中島村と高畑村が合併）、正名村と二軒屋村が合併（正名村）
1883（明治16）年	高橋用水完工
1889（明治22）年	占部村誕生（国正村、中村、正名村、定国村が合併）、阿乎美（あおみ）村、糟海村誕生
1898（明治31）年	杉浦製糸所設立
1904（明治37）年	中島耕地整理完工
1906（明治39）年	六ツ美村誕生 （中島村、占部村、合歡木村、上青野村、中井村、糟海村が合併）
1908（明治41）年	六ツ美第三尋常小学校（六ツ美南部小学校）開校
1910（明治43）年	六ツ美第三尋常小学校に高等科併設（六ツ美第三尋常高等小学校）
1911（明治44）年	西尾（軽便）鉄道開通
1915（大正04）年	悠紀斎田御田植え式、「悠紀斎田御田植え唄」発表
1931（昭和06）年	睦劇場開場（中島新町）
1937（昭和12）年	杉浦製糸所最盛期を迎える。工員500名
1947（昭和22）年	碧海郡六ツ美村立六ツ美中学校開校
1951（昭和26）年	六ツ美南保育園開園
1956（昭和31）年	後屋敷、定国簡易水道開始
1957（昭和32）年	中島簡易水道開始
1958（昭和33）年	六ツ美町誕生
1962（昭和37）年	六ツ美町が岡崎市に併合、小学校が岡崎市立六ツ美南部小学校に改称
1964（昭和39）年	六ツ美南部学区市民ホーム設立
1970（昭和45）年	（株）デンソー「西尾製作所」創業
1978（昭和53）年	中島保育園開園
1989（平成01）年	悠紀斎田保存会が主基斎田を訪問

- 1990（平成02）年 六ツ美南部学区こどもの家設立
1992（平成04）年 六ツ美中学校が学校分離（六ツ美中学校と六ツ美北中学校）
1995（平成07）年 悠紀斎田80周年記念式典
2003（平成15）年 六ツ美南部児童育成センター設立
2008（平成20）年 六ツ美南部小学校創立100周年
2010（平成22）年 六ツ美南部小学校「六ツ南かるた」制作
2013（平成25）年 六ツ美中学校美術部が高橋用水中継所の壁画を作成
2014（平成26）年 都市計画道路、衣浦岡崎線全線開通
2015（平成27）年 「悠紀の里」全館オープン、悠紀斎田100周年記念事業